

6月定例議会が8日開会された。

改選ご初の定例議会だ。新人議員を含め活発な議論が展開されることを望む。

一般質問は20日、21日、22日の3日間で、20人の議員が質問に立つ。

今議会から質問席が設置され、再質問は自席でなく質問席で行うこととなった。

私は今回も一番バッターで20日10時から質問に立つ。

今回の質問は

1. 東日本大震災より学ぶ  
(バックアップについて)
2. 自治体クラウドについて
3. 熊谷駅南口再開発について
4. 教科書の採択について

以上4点について質問する。

特に教科書の採択は、教育基本法が改正されて初めての採択となるので、過去2回の質問の時とはとは違って大切な採択だ。

そして本年から熊谷市独自の採択となるということで静ひつなうちに、公正な採択が行われることを期待している。

10年以上も埼玉県全ての採択区で同じ会社の教科書が採択されているという、異常な状態を改めなくてはならない。

平成23年6月14日

6月定例議会は27日閉会した。  
改選後初の定例議会で新人も多く活発な  
議会が開催された。  
色々な役職も決まった。私は常任委員会は  
引き続き「総務文教」となった。教育の問題  
について引き続き頑張っていきたい。  
特別委員会は「魅力あるまちづくり特別委員  
会」に所属した。熊谷市の活性化に取り組み  
たい。スポーツ振興審議会委員も担当する  
こととなった。  
また昨年発足した「スポーツ文化振興議員  
連盟」は新人議員9名も参加して頂き、総勢  
32名の大所帯となった。会長としてスポーツ  
文化の振興を町づくりにつなげていきたい。  
3日は日頃御世話になっている狭山市長選挙  
の「仲川幸成」候補の出陣式に行ってきた。  
真夏の大変暑い選挙だが、新人候補との  
一騎討ちとなり、熱い選挙戦となるだろう。  
梅雨があげたような毎日の暑さである。  
先日のテニスの練習中に気分が悪くなった  
人がでたが、熱中症にはくれぐれも気を付け  
よう。  
うちわ祭りが近付いてきた。今年も暑い中、  
無事故で盛大に開催されることを祈る。  
皆様、暑さにはくれぐれもお気お付け下さい。

平成23年7月5日

ヤッター「なでしこジャパン」。

日本中の誰しも、健闘するだろうが優勝するとは思っていなかったのではないだろうか。開催国ドイツに勝っただけでもすごいことな

のに、世界 NO1 のアメリカに勝って優勝とは。

それも先制点を許し、同点に追いつき、逆転され、また同点に追いつき、PK 戦では圧倒的な勝利。こんな筋書きは誰も予想できなかっただろう。3. 11 以来暗い話題ばかりの日本に大きな喜びを与えてくれた、佐々木監督をはじめ選手の皆さんに「ありがとう」と言いたい。それにしても敗れたドイツやアメリカからも日本チームへの称賛の声が聞こえる。

スポーツの素晴らしさを感じた。

今日から伝統の「うちわ祭り」が始まった。

昨夜のものすごい雨、関東地方としては大変珍しい7月の台風の影響を心配したが、朝起きてみると雨は止んでいた。6時からの渡御発興祭も大変涼しい中で開催された。これから3日間、天候の心配があるが無事に終わることを祈る。

荒川区においては来年の年番に向かって山車の建造に取り掛かっており、今の屋台での巡行は今年が最後となる。

特にアンダーパス通過は山車では無理なので今年が最後となる。例年は1回の通過だが、今年は3回予定している。皆さんお楽しみ下さい。

平成23年7月20日

8月に入ったが天候不順が続く。

新潟、福島県を襲った豪雨では多くの被害が出ている。最大時では40万人余に避難指示、勧告が出された。住宅や道路、農地などに大きな爪痕が残っている。しかし、16人が死亡した2004年7月の豪雨より、降水量は多かつたものの、人的被害は少なかった。

7年前の苦い教訓をもとに高齢者など災害弱者を守ろうという地道な取り組みが効を奏したのだろう。災害から学び、対策を講じることが大切だ。

真夏の知事選が終わった。

予想通り現職の上だ知事の圧勝だが、考えさせられることがある。投票率だ。

前回は2.78ポイント下回って24.89%でとうとう25%を割り込み、全国の知事選で最低となった。有権者の4人に1人も投票しないということで、これは民主主義の危機ともいえる。有力な対抗馬がいなかったこともあるが、国政をはじめとする政治不信が影響していることは否めない。政治が国民の信頼を失っては民主主義は崩壊する。

しかし政治が悪いからといって棄権することは白紙委任することになる。権利の放棄だ。

選挙教育、啓発事業を真剣に考える時だ。

上田知事は多選はしないということで今回が最後の任期となるだろう。上田県政の総仕上げということで埼玉から日本を換えてほしい。

平成23年8月1日

昨日は 66 回目の終戦記念日。

そして民主党政権下で 2 回目の 8 月 15 日だ。

今年も菅内閣の閣僚は一人も靖国神社を

参拝しなかった。誠に残念なことだ。

菅内閣として靖国参拝の自粛を申し合わせて

しているという。靖国神社には幕末以降の戦

死者 246 万余柱の霊が祭られているが、そ

の内 213 万余柱は先の大戦の死者であり、

それだけに 8 月 15 日の参拝の意義は大き

なものであるという。

首相が国民を代表して戦死者の霊に哀悼

の意を捧げることは当然のことである。

A 級戦犯が合祀されているから参拝しては

いけない、などというのは全く屁理屈だ。

そもそも A 級戦犯とは東京裁判という事後法

のリンチ裁判でかってにつけられたものだ。

日本ではサンフランシスコ平和条約の発効

後、彼らに戦犯の汚名を着せたままではい

けないということで、昭和 28 年「遺族援護法」

が改正され、旧敵国の軍事裁判で有罪とさ

れた人は、日本の国内法では罪人と見なさ

ないという判断基準が明確に示されたのだ。

そして遺族に年金と弔慰金が支給されること

になった。だから日本には戦犯は存在しない。

日本国は堂々と靖国神社を守り、首相も参拝

するべきである。

熊谷では今日、星川で亡くなられた方々の

慰霊の灯籠流しが行われる。

多くの犠牲の上に今の繁栄があることを

決して忘れてはならない。

平成 23 年 8 月 16 日

民主党の党首選が終わった。  
結果を観ると野田さんの圧勝だ。  
第1回の投票で102票までいくとは思わなかった。やはり海江田さんの後ろには小沢さんの陰があるのがマイナスだったのだろう。それにしても、告示から3日間の選挙で、議員だけの投票というのはどうだろうか。  
時間的な余裕が無いとはいえ、日本の総理大臣となる人を選ぶ選挙だ。国民の遠く離れたところで行われているので、何ともおかしい選挙だ。  
野田さんは「怨念の政治との決別」を言っているが本当にそうなるだろうか。  
ともかく国民の要望は一刻も早い復興と、原発対策、そして経済問題だ。  
勿論野党の協力が無くては何も進まない。  
その点では野党の協力が得やすい野田さんだろう。  
大連合はともかく、これらの問題だけは与野党協力してしっかり取り組んでほしい。  
そしてひと段落したら、選挙で国民の信を問うべきだ。  
政権がしっかりしなければ、地方自治体はたまったものではない。  
政権の安定を期待する。

平成23年8月29日

何かと忙しくHPの書き換えもしていない内に  
9月定例議会も半ばとなってしまった。  
明日から一般質問が始まる。21人の議員が  
質問に立つが、私はいつも通り明日1番で  
10時から質問に立つ。  
今回の質問は

1. 市民意識調査について
2. スポーツの振興について
  - 全国高等学校選抜ラグビー大会
  - 妻沼カップ高校女子サッカー大会
  - 全日本卓球クラブ選手権大会
3. 投票率について

以上大きく3点について質問する。  
特に、投票率の低さは民主主義の危機  
ともいえる。真剣に考えなくてはならない  
時期にきていると言えよう。  
スポーツの秋でソフトテニスの大会も目白押し  
である。10日の土曜日には「木島杯争奪

壮健大会」がさくら運動公園庭球場で開催さ  
れた。83歳の選手を筆頭に230人ばかりの  
シニアの選手が参加したが、大変な暑さの  
中で一人も具合も悪くならず、流石普段から  
鍛えている人は違うなと感じた。  
もう少し暑さが続きそうです。  
皆様お体ご自愛下さい。

平成23年9月13日

10月に入った。

今日は予報では雨ということだったが、強い風となった。明け方は寒いくらいの気候だ。暑い夏も終わりかと思うと、暑いのが好きな私は少々残念だ。寒さに向かうというのは寂しいものだ。

スポーツの秋満開で、運動会をはじめ多くのスポーツイベントが開催されている。熊谷ドームではソフトテニスの「おしどり大会」が開催された。夫婦のみの参加が許される。息の合ったプレーが繰り広げられた。今日は「熊谷市・行田市消防通信指令事務協議会」の発足式が行われた。熊谷市と行田市の消防通信指令事務が共同運用される。

3. 11 東日本大震災以降、市民の安全・安心に対する期待は大きくなっている。市民の生命・財産を守る消防活動が効率的に運営されることを期待する。式典後、消防指令センターの「高機能消防指令システム」を視察した。素晴らしいものだ。行革の時代ではあるがこのような所には、多くの予算をかける必要がある。何でも削るのが行革では無い。必要な所にはやはりお金をかけなければいけない。急に寒くなりました。お体ご自愛下さい。

平成23年10月1日

今日は「靖国神社秋季例大祭第3日祭」

に案内を受け参拝した。

市ヶ谷駅を出ると、大勢の参拝者が列を作り靖国神社に向かっている。幸い早く受付をしたので良い席に座ることが出来た。

10時より静寂の中で厳粛な式典が開始された。式典の後本殿に進み参拝者の拝礼が行われた。遺族の方かもしれないが、涙を流す姿も見受けられた。1時間ばかりの式典であったが、心洗われ、すがすがしい気持ちとなった。

何故総理大臣が参拝できないのか再び残念に思う。日本に戦犯は存在しないとっていた野田総理にはかすかに期待していたが、やはり駄目だ。国民ももう一度靖国の問題をしっかりと議論し考えることが必要だ。

遊就館では「スポーツと靖国神社」という特別展が開催されていた。野球の沢村栄治・吉原正喜・馬術の西竹一・柔道の広瀬武夫をはじめ大勢のスポーツ選手が戦争で亡くなられた。

平和な世であればスポーツの世界で大いに活躍しただろう。残念で仕方ない。

我々はスポーツを楽しめる時代であることを感謝し、この平和な時代を作るために犠牲となられたこれらの方々の霊の御冥福を祈ろう。

是非多くの国民の参拝を望みたい。

平成23年10月20日

カレンダーも最後の1枚となった。  
師走とはよく言ったもので、なんとなく気ぜわしい。  
国政に目を転じると、野田内閣が発足して3カ月が  
経とうとしている。

通常政権発足から **100 日間はハネムーン**期間と  
言われ、性急な評価を控え、暖かく見守る期間と  
も言われている。然しながら何としても問題の多い  
政権だ。

**田中聡沖繩防衛局長**の発言は私たちは報道でし  
か解らないが、耳を疑う発言だ。これで普天間問題  
の解決も更に遠くなるだろう。**一川防衛相**自身も  
大きな問題を抱えていたが、これで問責間違いなし  
だろう。他に**山岡**さんの問題もある。

政治がこんなことで混乱しているのは情けない。  
先の大阪府、大阪市の選挙結果をみても国民の  
既成政党離れは著しい。**憲法改正でも旗印**にして  
一度ガラガラポンをしてほしいものだ。

12月定例議会が昨日開会となった。

一般質問は19日(月)20日(火)21日(水)で  
23人の議員が質問に立つ。

私は又1番で**19日10時**に質問する。

今回の質問事項は

1. 安全・安心のまちづくりについて
2. 正午のサイレンについて
3. 繰上償還の実績と予想について
4. 道徳と経済について

以上4点です。

特に道徳と経済は最近の経済界の不幸事をみて  
やはり道徳の問題と感じているので取り上げた。  
御都合がございましたら傍聴、インターネットでご  
覧下さい。

不順な天候が続きます。お体ご自愛下さい。

平成23年12月1日

12月定例議会も20日閉会となった。  
今年も残り10日。なんとなく忙しなくなった。  
今年は3.11東北大震災・原発事故・台風被害など、日本国民のにとって試練の年だった。  
それぞれの被災地の一日も早い復興を祈りたい。  
年末に明るいニュースが飛び込んだ。  
韓国で開催されたソフトテニス世界選手権大会で、川口市役所所属の菅野創世選手がダブルスにおいて優勝した。  
前衛は早稲田大学軟式庭球部主将の中本選手。  
川口市役所ソフトテニス部4人目の世界チャンピオンだ。  
3日には日本連盟、4日には早稲田大学軟式庭球部、17日には県連盟と川口市連盟・川口市役所ソフトテニス部合同の祝賀会が開催された。ソフトテニス人にとって大変嬉しいニュースだ。  
各地で忘年会花盛りだ。  
暗い世相を吹き飛ばし、明るい新年を迎えたい。

平成23年12月21日